

令和5年度 技術・家庭科 授業改善推進プラン

大田区立六郷中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・ I C Tの活用をすることにより、生徒の知識や技能の習得率が高まった。
- ・ グループ学習を通して、生徒自ら進んで課題解決に向けて取り組むような姿勢が多く見られた。

(2) 課題

- ・ 技術・家庭の領域共に家庭や地域での生活体験が少ないため、作業における基礎・基本が習得できていない生徒が多くみられる。
- ・ 与えられたことは取り組むことができるが、作品の完成に重きを置いている生徒が多く、作品の工夫や効率的な作業など、自ら工夫して作業をすることは苦手である。

2 過去の成果との比較・分析

- ・ 学習効果測定未実施教科

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
授業規律の向上を図り、興味・関心を高めための教材の研究を行う。	I C T等を通して、より効率的な作業や創造・工夫して作品に取り組ませる。	日常生活でも活用できる教材を工夫し、興味・関心の高揚を図る。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活体験が少ない生徒が、興味・関心をもって取り組むことができる教材の研究を行う。	I C Tによる資料提示や体験学習などの工夫の定着を図り作品の質を高めるための研究を行う。	ものづくりを通して生活を豊かにする意欲を高める指導を工夫する。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
授業規律の向上を図り、学んだ知識や技術を実生活の中で生かすことができる力を育成する。	I C T等を通して、より効率的な作業や創造・工夫して作品に取り組ませる。	グループ学習を通して主体的に学習に取り組む姿勢を身に付ける。